

タピネット

札幌市自立支援協議会

東区地域部会

号 外 令和7年6月発行



東区地域部会では、強度行動障がい支援に携わる支援者の育成を目的として、「強度行動障がい支援者育成モデル研修」を実施しています。

本モデル研修は「標準的な支援についての理解を深める」、「事例を通じて具体的な支援方法について知る」、「支援者間のネットワークの向上」を目的とし、基礎的な内容の確認とともに、グループワーク等の演習を多く取り入れた構成となっております。

今回第1回は「自閉症の障がい特性の理解とアセスメント」がテーマでした。

今回の研修のポイントは以下の3つです。

- ・体験的な学習から自閉症の障がい特性の理解を深める
- ・行動を観察して、障がい特性を整理する視点を持つ
- ・インフォーマルアセスメントから見える強みを1つ言えるようになる

前半は写真のような体験をいくつか行い、障がい特性の理解を深める学習を行いました。（会場の様子を撮り忘れました）

うまく伝えられない難しさ、理解できない難しさなどを体感することができたのではないかと思います。

後半はモデルの方の映像を見ながら障がい特性を整理する演習を行いました。1人でアセスメントをするのではなく、大事なことはチームで共通言語・許通認識を持つことです。演習の中でも、個人でアセスメントをとった後に周りの人と情報の共有を行なっています。



演習では支援者同士のコミュニケーションが活発に見られました。研修に参加することで顔なじみの関係性ができ、新たな繋がりの中としての効果があったと感じております。継続的かつ実践的な学びの場に参加し、支援力の向上と支援者同士のつながりを強めていきましょう。

【次回のお知らせ】

テーマ：環境調整と支援ツールを考える

と き：令和7年8月1日（金）18:15～20:15

ところ：東区役所3階 第2会議室（東区北11東7）

※参集のみ。オンライン対応はしておりません。

さんか：下記のリンクまたは右 QR コードからお申し込みください

→申込先はこちら（Google forms）

主 催：札幌市自立支援協議会東区地域部会



次回申し込み
QRコード